



- 小金井市版 - 2014年陽春号
 民主党プレス民主編集部
 東京都千代田区永田町1-11-1
 電話 03-3595-9988(代表)
 press@dpj.or.jp
 http://www.dpj.or.jp



●お問合せ・購読申込などは
 民主党プレス民主編集部または
【民主党小金井支部】
 支部長：西岡 真一郎
 〒184-0012
 小金井市中町4-12-11-406
 TEL:042-386-5771/FAX:042-386-5773

平成26年度予算案(一般会計予算 351億5,000万円)が可決成立!

昨年比約20億円減の緊縮予算

賛成 ⑫ 民主②、自民⑤、公明④、改革①
 反対 ⑪ 共産④、ネット②、みんな②、市民自治、
 市民会議、こがおも

| | 平成25年度(千円) | 平成26年度(千円) | 増減(%) |
|------|------------|------------|-------|
| 一般会計 | 37,165,000 | 35,150,000 | △5.4 |
| 特別会計 | 20,583,176 | 21,920,627 | 6.5 |
| 合計 | 57,748,176 | 57,070,627 | △1.2 |

< 目的別歳出 >

| | | | |
|-----|------------|--------|-----------------------------------|
| 土木費 | 約11億2,429万 | 25.3%減 | JR高架化に伴う町づくり費用などの道路橋りょう費・都市計画費が減少 |
| 教育費 | 約5億8,834万 | 13.9%減 | 貫井北センター建設費用などの社会教育費が減少 |
| 民生費 | 約2億2,362万 | 1.4%減 | けやき・ピノキオ保育園移転費用などの児童福祉費が減少 |
| 総務費 | 約1億1,498万 | 3.3%減 | 都知事・参議院・都議会などの選挙費用が減少 |

< 性質別歳出 >

| | | |
|-------|-------------|------------------------------------|
| 人件費 | 約4億1,569万減 | 職員19名減(一般会計)、住居手当、扶養手当の見直しなどにより減少 |
| 建設事業費 | 約23億4,563万減 | けやき・ピノキオ保育園やJR側道などの建設費が減少 |
| 扶助費 | 約1億7,332万増 | 30億円を超える生活保護費や介護・訓練給付費などの障害者福祉費が増加 |
| 物件費 | 約3億1,000万増 | 貫井北センター、児童発達支援センター、小学校給食調理業務委託料が増加 |

注目すべき事業

| | |
|-----------------|---------|
| ☆ 可燃ごみ共同処理事業 | 約2,251万 |
| ☆ 貫井北センター運営委託 | 約5,861万 |
| ☆ こむぎ、貫井保育園の定員増 | 約2億587万 |
| ☆ 子どもと家庭の支援員の配置 | 約720万 |
| ☆ 教育相談員の市費での配置 | 約508万 |
| ☆ 新庁舎建設の基本設計 | 約3,319万 |
| ☆ 新小金井駅バリアフリー化 | 約2,800万 |
| ☆ 玉川上水人道橋の架設 | 約7,000万 |

今後の課題は

可燃ごみ共同処理予算を始め、市民生活を前に進める為に本予算案に賛成しましたが、第3次行財政改革や公共施設一斉更新問題への取組みの遅れ、新年度予算に待機児童の緊急対策がないこと等厳しく指摘をしました。今後も厳しい財政状況が続く中、人件費削減による行財政健全化施策の限界を認識し、本予算案では4事業に留まった事務事業の見直し方法を抜本的に改め、更なるスクラップアンドビルドを進めると同時に職員から市民サービス向上に資する発想が生まれるような体制作りが必要となります。

可燃ごみの3市共同処理に向けて着実に進んでいます!

新施設建設に向け、周辺環境整備費2,251万円を計上

1月16日に締結された『新可燃ごみ処理施設の整備及び運営に関する覚書』に基づき、平成31年度中の新施設建設に向けた周辺環境整備費用が計上されました。小金井市議会民主党は、市民生活に大きな影響を及ぼす可燃ごみの安定的処理の為に、責任をもって3市共同処理を全力で推進します!

日野市のご理解に心より感謝するとともに、引き続き近隣住民の皆様のご理解が得られるように努力していきます!!
 以下、覚書より抜粋した内容です。

- 一、最新鋭の施設を設置し、周辺住民にとって、安全・安心な環境を確保する。
- 一、新施設の整備及び運営に係る体制は、一部事務組合において行う。
- 一、新ごみ処理施設の稼働目標年度は、平成31年度中とする。
- 一、新ごみ処理施設の設置に要する費用は、3市が均等に負担する。
- 一、周辺環境整備に係る費用は、小金井市、国分寺市の2市が均等に負担する。
- 一、新施設の維持費については、それぞれが処理する可燃ごみの量に応じて負担する。
- 一、稼働期間は概ね30年とし、稼働後、適切な時期に協議を行い、引き続き3市の枠組みを継続する場合の建設場所は、日野市の区域外を基本とする。

～ 今後の見込み ～

平成27年度の一部事務組合設立に向けた協議が始まる見込み。

可燃ごみ処理については、緊急的な人道的支援から計画的な支援へ移行し、引き続き周辺自治体をお願いしていく見込み。

待機児童対策の遅れに対し、不服申し立て、陳情が続々提出

小金井市の待機児童数は増加の一途、138名（平成24年4月1日）→188名（平成25年4月1日）→237名（平成25年10月1日）

民主党小金井支部は一貫して、待機児童緊急対策の必要性を主張してきました！

民主党小金井支部は、市が保育計画を策定せず、単年度の対策のみに終始し、主体的、積極的に解決策を図ってこなかったことが待機児童増加の要因であると一貫して指摘するとともに、右記のあらゆる提案を行ってきました！！
また、平成26年度の市長の施政方針に対する代表質問においても唯一、庁内横断的な対策チームを組織し、緊急対策を講じるべきだと指摘しました！！

市の主張は、「保育予算は増やしてきた」「具体的な話があれば保育園を設置する」「やれることはやってきた」
確かに、保育予算や保育園数は増えてきましたが・・・大事なことは、その結果として現在どうなっているのかではないでしょうか。

これに対し

その結果

対策を提案

- ☆ 待機児童率（就学前人口に対する待機児童の割合）多摩26市でワースト
- ☆ 認可保育所入所率（申し込みに対する入所の割合）多摩26市でワースト
- ☆ 保育認定指数100点でも100名以上が待機
- ☆ 平成26年4月1日待機児童数は更に増加する見込み

- ☆ 庁内横断的なチームを組織し、緊急対策を講じるべき
- ☆ 空室・空店舗を活用する東京都スマート保育の活用
- ☆ 保育ママ2～3名でのミニ保育園の創設
- ☆ 保育ママ、小規模保育への都補助金の積極的活用
- ☆ 町田方式による、施設用地と施設運営を公募し、マッチングによって期間限定保育所の新設
- ☆ 駅前保育送迎ステーションを設置し、立地条件によらない需給の平準化

66名の不服申し立て・陳情3件！市民の声を受けて遂に対策チーム設置へ！

中央線沿線の町づくりが進んでいます！！

貫井北センター

市民が運営する待望の複合施設が4月1日オープン！



子どもスペースも充実！
本館よりゆったりした図書館



ITルームや創作室、スタジオ、
釜室など今までにない公民館！

東小金井事業創造センター

地域に根差した企業家育成施設が4月1日オープン！



入居事業者（6室）の企業支援
や育成プログラムも実施！



シェアスペース（7.5㎡）は
一般市民も利用可能！

武蔵小金井駅周辺

北口駅前整備事業は7月末に終了予定。平成26年度末までに小金井街道側高架下に店舗が開業予定で、南口第2地区や北口商店街の町づくりも進む見込みです。



東小金井駅周辺

nonowa 東小金井が開業し、週末イベントが開かれる北口広場は、平成26～28年度で整備予定。北口区画整理事業全体では現在約38%の進捗率となっています



民主党小金井支部メンバー



顧問
菅直人
（衆議院議員）



支部長
西岡真一郎
（前東京都議会議員）



幹事長
鈴木しげお
（小金井市議会議員）



幹事
村山ひでき
（前小金井市議会議員）



幹事
岸田正義
（小金井市議会議員）